

	SSKP	
	発行 全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部 〒252-0207 相模原市中央区矢部新町1-9-101 電話 042-852-3525	編集人 赤城 喜久代

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇一七年九月十二日発行(毎月十八回)・二・三・五・六・七の日発行
SSKP通巻第六七〇四号

ホームページ <http://www.max.hi-ho.ne.jp/yawaragi/>
メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



肺活量の少ない人でもコツを掴めば
高得点もゲット 結構楽しいです

自分の障害に合わせて工夫した器具を使用して楽しんだスポーツ吹き矢 ストレス解消!

第16回定時総会	2～3
おきなわ大会の報告	
支部長 赤城 喜久代	
支部総会の報告	4
副支部長 澤藤 充教	
横浜港ランチクルーズ!!のご案内	
	5～6

妻屋氏を偲んで	7
横浜協会 長谷山 与一	
いちご狩りに参加して	7～8
川崎協会 大久保 多嘉穂	
「吹き矢&懇親会」に参加して	8～9
川崎協会 神村 浩平	
会員動向・編集後記	9

ここしばらく会わずじまいで、5、6年ぶりの再会になりましたが、久しぶりに昔話で盛り上がりました。

2日目は、総会当日です。式典があり、沖縄県知事代理、那覇市長代理の方やその他の方々が祝辞を述べられました。毎年総会に出席される、衆議院議員の榎屋敬悟氏が今年も又、はるばる沖縄まで来て祝辞を述べてくださいました。感謝状贈呈などすべての式典が終わった後、午前中に「障害保健福祉施策の動向」の講演があり、午後からは「障害者権利条約と差別解消法について」の講演がありました。講演はどちらも厚生労働省の職員でした。

第16回定時総会は、出席代議員が28名、議決権行使代議員が29名合計代議員77名で成立しました。議長に沖縄県支部の仲根さん、副議長に石川県支部の田中さんの二人で議事は進行しました。第1号議案平成28年度事業報告、第2号議案平成28年度決算報告、第3号議案平成29年度事業計画案、第4号議案平成29年度収支予算案、第5号議案役員の改選について、第6号議案その他の案件



①次年度全国総会開催県について
②スローガン採択と宣言、第7号議案平成29年度本部提案事項まで、全て賛成で可決されました。

総会の後はお待ちかねの懇親会です。久々に会場いっぱいになり、お料理に舌鼓をうち、沖縄県の障害者の方たちの楽器演奏や催しものに皆さん拍手喝采でした。途中で沖縄の泡盛の飲み比べ大会などもあ

り、懇親会は大いに盛り上がりました。

沖縄でやる総会は2回目でしたが、前回は昭和63年でした。29年ぶりということもあり、後のオプショナルツアーも人気があったようで、出席者は160人位いたのではないのでしょうか。盛況のうちに総会は幕を閉じました。

帰りは同じように、モノレールを使い空港まで行き、そこでお土産でもらったのですが、何か車いすの調子がおかしいのです。見てみたらキャスターが外側にめくられてパンク状態です。のんきにお土産を買っているわけにはいけなくなりまして。空港の車いすにすぐ乗り換えさせてもらいました。しかし、考えたら羽田からは電車で帰る予定なので、その状態ではとても無理です。困ったなと思っていたら、支部のYさんが家まで送ってくれると言ってくれました。帰る方向が違おうし、帰宅までに1時間はロスになると思います。が、送ってもらえて本当に助かりました「イヤー持つべきは仲間です」。そんなことを改めて感じた旅になりました。

支部総会の 報 告

副支部長 澤藤 充教



6月18日(日)第39回神奈川県支部総会が、伊勢原にあるフォーラム246で13時から14時30分まで行われました。支部長の挨拶の後、議案の審議に入りました。

4月1日現在会員数は101名、総会成立の定足数は51名です。総会出席者は16名、委任状提出者は42名、合計58名で総会は成立しました。

しかし、総会出欠の葉書を議案書と一緒に送りしているにもかかわらず、このところ毎年のように葉書を返信してくれる人が少なくて、ぎりぎりの開催になっています。今年も不安でしたので、何人かの方には電話して葉書を送ってもらった経緯があります。これを読んだ方は、たとえ欠席でも葉書が返ってこないとい

総会が成立しないのだということをお考えいただき、ぜひ葉書を返信してください。そういうわけで辛くも総会は成立し、安藤朱美さんが議長で、第1号議案の事業報告から、第2号議案決算・監査報告、第3号議案活動方針及び事業計画、第4号議案29年度予算案、第5号議案の役員の改選まですべて了承され、無事総会を終えることができました。

今年は役員改選でしたので、新役員を紹介したいと思います。

(敬称略)

支部長……………赤城 喜久代

副支部長……………山崎 昇

副支部長……………澤藤 充教

事務局担当……………小暮 進

財務担当……………相馬 美枝

労働福祉担当……………山崎 敏夫

厚生福祉担当……………澤藤 充教(兼務)

体育担当……………山崎 昇(兼務)

広報担当……………北島 総美

女性部担当……………赤城 喜久代(兼務)

女性部(副)……………田辺 昌美

監 査……………安藤 朱美

監 査……………大井 知子

以上10名が役員と監査です。

今後2年間、この体制ですのでご協力宜しく願います。

今年の総会には5月に会員になられたばかりの、川崎の神村(ジئمムラ)浩平さんも参加されました。彼は車いす用の手動式の自動車運転装置を販売されている方です。一般的な固定式の手動装置と違い、簡単に取り付けることができる運転手動装置です。もちろん自分で取り付けるには、体の状態のいい人でないと少し無理かもしれません。今までレンタカーは、車いすの人は考えられませんでした。それが使えれば、レンタカーを借りるという選択肢もあります。もう一人、私も今まで役員をやっている初めてお目にかかりましたが、横浜の長谷山与一さんも来てくださいました。出席するのは何十年ぶりだということでしたが、神奈川県支部の初代支部長をされていたということでした。後段の「妻屋氏を偲ぶ」の本文にも投稿されています。できるだけ多くの皆さんに行事に参加してもらいたいと思いますが、今年は新しい人たちを役員にも迎え、またみんなで支部を盛り上げていきたいと思っています。

～ 横浜協会主催 ～

横浜港ランチクルーズ!!



マリンルージュ号

＜フランス料理に舌鼓を打ちながら
秋のひと時をのんびり過ごしませんか＞

場 所： 山下公園前発 マリンルージュ
(車いすで乗り込み可能・車いすトイレ無し)

時 間： 平成29年10月20日(金)
集合 11:00
出港 12:00 (クルーズ12:00～14:00)

金 額： 大人3,000円(飲み物自己負担)
(各協会と支部からの助成で特別価格・次の予定は未定)

◎申し込み締め切り 10月8日(日)まで

- ・駐車場 山下公園駐車場を使用(障害者手帳提示で無料)
- ・トイレ 山下公園にあり(乗船前に済ませてください)

・お問い合わせ・申し込み 赤城 喜久代まで
〒252-0207相模原市中央区矢部新町1-9-101
TEL/FAX 042-852-3525
E-mail: k-edelweiss@jcom.home.ne.jp



申 し 込 み



お名前 _____

参加者 合計 名 ・ 車いす 名 ・ 付き添い 名

ご住所 _____

携帯電話番号 _____

山下公園駐車場案内図



○山下公園駐車場

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町279

Tel 045-651-3721



➤ 駐車場は山下公園駐車場をご利用下さい。
(夜間は、管理事務所の職員が居なくなるので必ず到着時に障害者手帳を持参して管理事務所で手続きして下さい。無料になります。)

妻屋氏を偲んで

横浜協会 長谷山 与一

私と妻屋前理事長との出会いは、今から40年程前のことになります。

まだ、全脊連の全国体制は確立されておらず、脊損の短期入院化が始まりつつありました。その当時のことを知っているのは、今や現副支部長の山崎氏だけとなつてしまいました。当時、脊損治療の出来る病院は、県内では箱根療養所と関東労災病院の2ヶ所だけでした。これも例外ではなく、退院後の生活に不安を抱く人がたくさんいました。

そこで、一県一支部の全脊連の現体制の原案の基盤となつて活動したのが、関東労災病院に入院中だった妻屋明前理事長でした。

私は、全国組織を立ち上げる夢を妻屋氏に話し、すでに退院していた新田氏、荻野氏らにご協力をいただき、全国に散っている療養仲間、この全国組織の必要性を手紙を通して

て伝えまくりました。皆、手弁当で病院へ集まり作業に当たりました。それと同時に神奈川県の一支部化が目標となつていました。

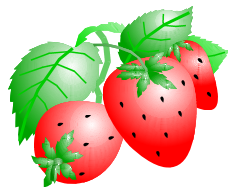
箱根療養所の山崎氏、笹原氏の尽力により支部会則が出来上がり、神奈川県支部が設立され、神奈川県を本に全国各地で支部が設立されました。妻屋氏がその頃から、あの不自由な手で事務を執っていた姿を思い出すと、感無量です。

私が初代支部長に、妻屋氏が事務局長に着任して40年以上が経った今、たくさんの方々のご協力とご尽力に感謝し、今後も妻屋氏のことを若い世代に引き継いでいただきたいと、切に願っております。

近くに住んでいながら、疎遠になり不義理をいたしましたこと本当に申し訳なく思っています。心より安らかなご冥福をお祈り申し上げます。



初代支部長の長谷山氏



いちご狩りに

参加して

川崎協会 大久保 多嘉穂

普段家の中で過ごすことが多いのですが、いちご狩り参加の案内は出のための絶好の機会だと思つて参加することを決めました。

当日はいい天気恵まれ外に出けるにはとてもいい日でした。事前にいちご園への道のりを調べ余裕をもつて出かけたつもりでしたが、予想外の大渋滞で予定の時間につけませんでした。いちご狩りはもうできないと諦めかけていましたが、赤城さんが予定を30分ずらしてくださったおかげでいちご狩りに参加できました。

ビニールハウスに入ると、ハウス内は春一色でミツバチが飛んでいました。車いすに座っていても、ちょうど目の高さの所にいちごが植えられているので、いちごを摘みやすく、自分の好みのいちごを摘んでは食べ

ていました。摘みたてのいちごは食べると口の中いっぱい甘酸っぱさと甘みが広がって、とても美味しかったです。

30分のいちご狩りでしたが想定していたよりも長く感じられ、たくさん食べることができました。いちご園でいちごをお土産に買って帰るつもりでしたが、完売していました。私は買うのを諦めました、JAで買っていかれた方もいたようです。

次に場所を移して、フォーラム246で食事が行われました。私はフォーラム246に来たのは初めてでしたが、1階のレストランは通路も広くて車いすで何の不都合もありませんでした。いちご狩りでいちごをたくさん食べた後だったので、食べられないのではないかと心配していましたが、いざ料理を食べ始めると、美味しくて完食してしまいました。

食事会では前回知り合った方と近くの席になったので近況報告をしながら、楽しい時間を過ごしました。今はインターネットが発達しているので、メールなどで人と関わる機会

が多いですが、やはり実際に人に会って話したりすると表情もくみ取れ、同じ時間を共有できるので食事会に参加してよかったなと思いました。

車いすの生活になってから、外出の機会が少なくなっていたので、今回のようなイベントに参加できて本当によかったです。また、このような機会があればぜひ参加したいです。参加させて頂きありがとうございました。



常時介護の北村さんも参加 みんなで摘み
たてのいちごをお腹いっぱい食べました



「吹き矢 &

懇親会」に

参加して

川崎協会 神村 浩平

今年の4月から全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部に入会した神村浩平です。33歳で16歳の時に交通事故で胸椎4番を損傷し車いす生活になりました。神奈川県リハビリテーション病院でリハビリ後に高校に復学し社会復帰を果たし、現在は、川崎市で着脱可能な手動運転補助装置ニコ・ドライブ ハンドコントロールの製造・販売の会社を営んでいます。

「吹き矢&懇親会」へは赤城支部長のお誘いで参加いたしました。吹き矢は初めての事でうまくできるか不安でしたが、障害のレベルは関係なく出来ると聞いていた通りで、頸髄損傷の人は専用の器具を使い、簡単に矢を的に刺していました。また、私のように腹筋背筋に力が入らなくても、弱い肺活量で簡単に矢が的に

刺さり、非常に気持ちのよいものでストレス解消になりました。

私が参加したグループは7名で競い、私は赤城さんたちと同じグループで試合に参加しました。結果は町田さんが1位で61ポイント、小暮さんが2位の58ポイントでした。私は参加者14名中、12位の21ポイントでしたが、次回は50ポイントくらい取れそうな気がしています。ただ、練習するような競技でもないもので、次回はずいぶん一緒にきたらコツをお教えられると思いますし、思ったよりずっと楽しいスポーツなので読者の方とも一緒に出来たらうれしいです。ちなみに一番下のポイントの方は頸髄損傷でしたが、それでも8ポイントを獲得し、一緒に競技を行うことが出来て本当に良いスポーツだなと改めて感動しました。

夕方からは懇親会があり、コース料理が振舞われゆったりとした時間を過ごすことができました。後半はカラオケ大会があり、神奈川県でサザンオールスターズの曲を歌いました。私は途中で帰らなくてはいけなかったのですが、皆さん一曲ずつ歌ったそうでした。

れたそうです。脊髄損傷になって7年経って初めての参加でしたが、同じ障害を持つ先輩、仲間と交流ができるのは何事にも代えがたいやさしさの空間でした。私自身これからも継続して会に参加していく予定です。で、神奈川県支部の皆様とこれからも交流を深めていけたらうれしいです。

会 員 動 向

○新入会員

神村 浩平

○退会者

倉島 秀雄

死亡退会者

謹んでお悔やみ申し上げます

妻屋 明 様
丸岡 範子 様
杉山 光子 様



編集後記

30数年前に神奈リハを退院した後も、近所の病院にリハビリ通院しています。

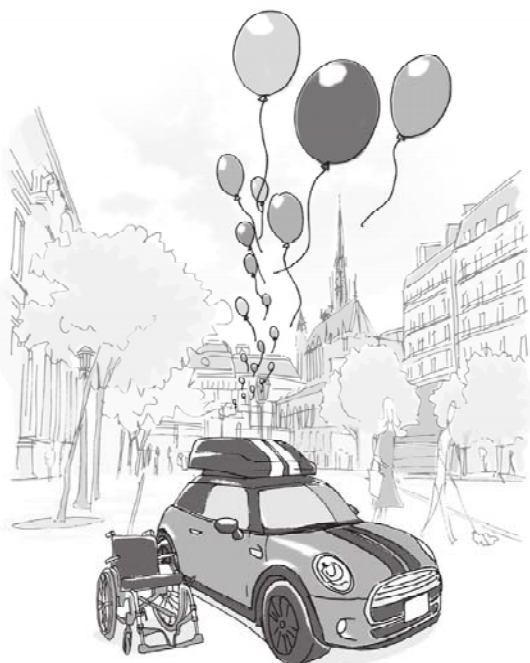
P.Tでは主に起立台、O.Tでは地活センターの作業で使用する染色用の自助具を製作してもらっています。型紙に合わせてプラスチック板をカットし、熱して柔らかくなった物を手に合わせ、固まると形状記憶します。そして、筆を挿す部分と固定用のマジックテープを付けて完成！なうんてそんなに簡単にはいかず、ほぼ経験ゼロの先生ということもあり、製作から数ヶ月経った現在もシツクリいく物が出来上がっています。こんな時、あの「3Dプリンターがあつたらなあ……」と思います。この先、医療や福祉方面でもっと身近に有効活用できる日を期待しています。(S・K)



アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッサン自動車工業は2016年4月より、

"株式会社ミクニ ライフ&オート"と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life



車いすを屋根上へ収納

車いす収納装置

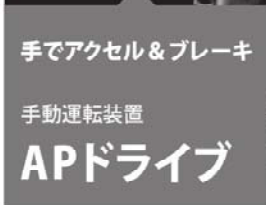
オートボックス



車いすに乗ったまま
スムーズ乗降

リモコン式

乗降用リフト



手でアクセル&ブレーキ

手動運転装置

APドライブ



車いすの積み降ろしを
サポート

車いす収納装置

ウィンチェア



福祉車両総合メーカー



ミクニライフ&オート

〒349-1145 埼玉県加須市関口456-1

TEL.0480-72-7221

FAX.0480-72-7223

<http://www.nissan-apd.co.jp/>

編集人

相模原市中央区矢部新町一〇九一〇一
「和」編集部 赤城 喜久代

発行人

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三二一十七

ヴェルドウーラ祖師谷102

定価 三〇〇円